

目標 2. 大規模自然災害発生直後から救助・救急、医療活動等が迅速に行われる  
(それがなされない場合の必要な対応を含む)

2-5) 想定を超える大量かつ長期の帰宅困難者への水・食糧等の供給不足

(物資、資機材等の備蓄、調達体制の整備)

○大規模災害発生時には応急復旧に必要な資機材等が不足することが懸念されるので、資機材を備蓄し定期的に点検、整備を行うとともに近隣市町村との相互応援体制を図る必要がある。

○避難が長期化する大規模災害発生の際には多くの方が避難することになるため、食料等生活必需品等の備蓄数量を計画的に確保することが必要である。また災害時には避難所のトイレが使用できなくなることが想定されるので応急トイレの整備が必要である。

○避難が長期化し市の備蓄数ではまかないきれないことを考慮し、民間の流通企業との物資提供について協定に基づく安定的な物資提供に努める必要がある。

【重要業績指標】

① 行政機能／警察・消防

備蓄食料数 非常食 4,000 食(R1) 【防災課】 (再掲)

飲料水 6,000 本(R1) 【防災課】 (再掲)